



よこすか



しゃぎょう since 1951
社協だより
YOKOSUKA

編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

～食事とともに“安心”も届けています～ ふれあいお弁当事業が15年目を迎えました



平成6年に始まった「ふれあいお弁当」も今年で15年目を迎え、ご高齢の方々の安否確認・見守りのための大切な事業となっています。利用される方も開始当初の年間6,000人から13,000人となりました。一日に利用される方は約1,050人、「こんにちは、お変わりありませんか？」の声かけとともに、配食協力員が民生委員、調理施設栄養士、ケアマネージャー、町内会等と連携をとりながら週4回お弁当をお届けしています。

お弁当は市内12カ所の福祉施設等で調理されていますが、利用者の声に耳をカタカタめながら、食べやすさ、季節感、栄養面に配慮された献立を心がけています。

利用者からは、「お弁当とともに、協力員の来訪も心待ちにしている」という声を聞き、協力員も「雨の日、風の日もあるが、利用者の笑顔にほっとする」と話しています。配食活動中のエピソードを詠んだ協力員の五行歌が、新聞で特選に選ばれました。



「ありがとう！たすかります！玄関先にむけてくれたスープ、お礼を云うのは、配食ボランティアの私です」

利用申請を希望される方は、区域担当民生委員にご相談ください。お住まいの地区によって、週4回のメニューや配食曜日が異なります。

65歳以上のご高齢者（一人暮らし又は、ご高齢者のみ）
の世帯で、自力で調理が困難な方

<利用者の様子>

- ・北海道に住んでいる息子さんが、インターネットでお弁当のことを知り、市内に暮らす70歳代の両親のために申し込んで利用を始めた。
- ・住み慣れた我が家に暮らし続けたいけれど、人様の世話にはなりたくないと考えていた方に、親族や民生委員、地域の協力員がサービスの内容を説明し、納得してから始めたことがある。
- ・利用している方から手紙をもらうこともある。

雨の日風の日ありがとう 福祉の道に心ざし 休むことない配食に 心をくばるまなざしに 明るい社会が見えてくる 心よせ含み福祉
ごと 高齢社会になった今 元気な力を結集で 明るい明日をつくるのだ 進取の道を歩みゆく 三寒四温の其の中で 休むことない配
食に 心をくばる 気づかいに 日夜の努力 精魂を 社会の奉仕に努力する 配食姉さん ありがとう (大津大正老人)

<安否確認報告>

- ・日々の生活の中で、「様子がいつもとちがう」発見 そして関わっている人々との連携をとる 異常の早期発見につながる
 - ・体調のほかにも、お風呂の湯がほこほこ沸騰しているのを発見・対応
 - ・お弁当を利用している方へ声かけを続けることにより、その方の表情があかるくなった。
- ※毎月300件近況の状況報告があります。(利用者からの相談を含む)

地域福祉活動計画にもとづいて展開します 平成21年度横須賀市社会福祉協議会の主な事業

「横須賀市社会福祉協議会 地域福祉活動計画（第3次：平成20年度～24年度の5カ年）」の2年目にあたり、平成21年度も多くのみなさんの参加と協力を得て、横須賀の地域福祉を進めていきます！



一人ひとりが地域や福祉への理解を深めるために

- 『よこすか社協だより』の発行(年4回/4・7・10・1月発行)
- ホームページによる情報提供(<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo>)(*6頁)
- 福祉のまちづくり出張トーク ●「やさしさ広げ」ふれあいフェスティバルの開催(*8頁)
- 社会福祉大会の開催 ●視聴覚・福祉イベント用具等の貸出 ●フッピー10歳記念事業 **NEW!**



子どもの頃から地域や福祉にふれられる環境づくり

- 高校生福祉体験学習(はまゆうキャンプ) ●ふれあいキャンプ(*6頁)
- 小・中・高ボランティアスクール(*5頁) ●ボランティア体験



身近な地域における福祉活動を推進するために

- 地区社会福祉協議会活動支援 ●地区ボランティアセンター活動支援 ●社会福祉推進委員活動の推進
- 社会福祉推進委員活動の推進 ●地域福祉活動計画策定モデル地区設置
- ふれあい・いきいきサロン、ふれあい子育てサロン活動の推進
- 地域イベントカレンダー作成モデル事業 **NEW!**



さまざまなボランティア活動・市民活動を推進するために

- よこすかボランティアセンターの運営 ●『ボランティアニュース』の発行(年4回/5・8・11・2月発行)
- ホームページによる情報提供(<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc>)
- 講座等の企画実践委員会の開催 ●場づくりサロンの開催 ●福祉機材等の貸出
- 布おもちゃ・布えほん貸出事業 ●布おもちゃ親子サロン “ポケット、ひろば”(*7頁)
- おもちゃの病院(*7頁) ●ハンディキャブ等による送迎活動事業(福祉有償運送事業) ●当事者活動の育成・支援



誰もが安心して生活できるために

- 日常生活自立支援事業(旧地域福祉権利擁護事業) ●法人後見事業 ●よこすか市民後見人等運営事業 **NEW!**
- 相談事業(生活福祉資金貸付・介護)(*8頁) ●生活福祉資金貸付事業 ●ふれあいお弁当事業(*1頁)
- 低所得者援護事業 ●福祉機器展示場の運営・介護ビデオの貸出
- 災害時ボランティアセンター設置訓練 ●災害時要援護者支援検討会(*4頁)



多種・多様な機関・団体・個人の協働を推進するために

- 共同募金運動の推進(*5頁) ●地域福祉活動計画推進委員会
- 「よこすか福祉の輪市民会議」支援(よこすか地域福祉計画との協働事業)(*3頁)
- 湘南シーレックスチャリティシート招待事業(障害児者のレクリエーション支援)協力
- 企業の社会貢献活動と地域資源としての企業に関する調査



理解・対応が不足している問題に対応していくために

- 障害児余暇支援連絡会の開催
- いろいろな悩みを抱えている人たちのことを知る講座の開催

第3期スタートから半年がたちました！ よこすか福祉の輪市民会議

平成20年7月に、よこすか福祉の輪市民会議の第3期活動が発足してから、半年が経過します。全3回のオリエンテーションを通じ、委員全体で「地域福祉」の理念や地域が抱える生活課題に対する理解を深めました。平成20年11月1日・2日には、神奈川県立保健福祉大学「県立大学にボランティアセンターをつくらうの会」の学生たちと協働で、「第5回よこすか福祉の輪のつどい」を開催しました。平成20年12月に全委員は9つのグループに分かれ、平成21年1月からグループ活動を始めています。

●各グループと活動内容

グループ名	活動内容
井戸端(10人)	地域のコミュニケーションの場づくりの検討
仕組みづくり(8人)	地域で支え合う仕組みづくりの検討
まちゆみちしるべ(10人)	町内会・自治会の魅力アップ策、地域内の各団体の連携策の検討
人材育成(15人)	地域福祉に取り組む担い手づくりの検討
経験・能力活用(8人)	高齢者の経験・能力を地域で活用する方策の検討
見守り(15人)	ひとり暮らし高齢者などを日頃から見守る方策の検討
災害時要援護者支援(6人)	地域で活用できる事例集やマニュアルの検討
子どもと遊び(11人)	地域でできる子育て支援策の検討
みんなの声を聴き隊(10人)	地域でできる障害者支援策の検討



アップ
～地域の力をさらにUP!～

必見!

“小さな工夫 大きな一歩”②

官公庁が多く集まっている中央地区社会福祉協議会（中央地区社協）は、本町、大滝町、小川町、若松町、日の出町、米が浜通から成り、横須賀を代表する商業地区と住宅地が混在する地域特性に配慮して、地区内のさまざまな団体と連携しながら安全対策、環境の保全に取り組んでいます。

地区内にある小学校PTAからの依頼によって始まった「パトロールEYE(アイ)」は、子どもたちの見守り活動の一つとして、揃いの腕章を身につけ、買い物や犬の散歩など地域を歩く時に自由なパトロールをするとともに、地域みんなの温かい目（英語でEYE）、愛、出会いという“3つのあい、”を示す活動として今年で3年目を迎えます。

「私も袋に腕章をつけて買い物に行くなど、気軽にできることをやっています。」と話すのは民生委員の藤掛さん。地区社協の役員からも「腕章をつけていたら子どもたちや警察官が挨拶してくれた」「ただ持って歩いているだけなのに、誰かの役に立っているのかなと思うとうれしい」などの声があったそうです。またPTAも、保護者や地域の大人が子どもたちの登下校や遊ぶ姿を見守ることによって、互いが顔見知りになり、安全で安心できる地域となることに期待を寄せています。



「パトロールEYE(アイ)」の腕章

中央地区社協では、この他にも日常の気軽な足である自転車に「学区パトロール中」の札をカゴに付けて走るなど、「地域を見守っていますよ」とさりげなくアピールして、誰もが住みやすいまちづくりを進めています。

活動が定着した一方で、街中で腕章を見かける機会が減っていると感じる声もあるようです。「パトロールEYE(アイ)」発足当時のPTA会長で、現在は主任児童委員である下村さんは「年に1回以上は行う子どもの保護者と協力団体による合同パトロールを続けていくことで、活動に込めた“3つのあい、”を地域の方々に思い出してもらえたら」と話してくれました。

「災害による横須賀での犠牲者ゼロをめざして」 ～災害時要援護者へ取り組みを進めています～

「災害による横須賀での犠牲者」



「災害による横須賀での犠牲者」



市社協と県立保健福祉大学の学生サークル「県立大学にボランティアセンターをつくろうの会」が、災害時に大きな被害を受ける高齢者や障害者などの「災害時要援護者」について考えるための話し合いの場を設けました。

この話し合いは、「災害による横須賀での犠牲者ゼロをめざして」をスローガンに、平成20年5月から平成21年3月までに11回、延べ180名が参加して、災害時に考えられる課題や問題を共有し、解決へつなげるための方法について考えました。



話し合いの結果は報告書にまとめ、「身近な地域での防災意識の啓発を進めるには」「知的障害者・聴覚障害者が災害時に感じていること」「外国人が災害時に感じていること」「新潟県中越沖地震で仮設住宅に住んでいる高齢者の生活から見えてきたこと」「福祉事務所や防災課の職員として感じた要援護者への支援」などの事例を掲載しています。今後は報告書の内容を伝えていくための啓発活動を進めていく予定です。

災害時の支援活動は、さまざまな組織との連携が必要となるため、日ごろから協力関係をつくるよう取り組んでいきたいと考えています。

報告書を希望する方は、よこすかボランティアセンターまでご連絡ください。
ホームページで、報告書や研究会の様子を見ることがもできます。
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/saigai/>

★個人(56件)
浅葉宗利、小崎幸枝、飯泉昭文、大竹裕、大竹真、鈴木恒生、鈴木徳重、石橋哲也、小笠万士、小光子愛育園職員の皆様、玉成保育園園職員の皆様、ヒューマン職員の皆様、佐々木道子、川島久子、渡辺静江、平沢いづみ、藤野静子、佐川洋子、青木富美子、山崎敬子、小原啓子、浅野巳代、松田典子、奥田良子

★団体(49団体)
長井婦人会保育園、小光子愛育園、玉成保育園、フロムワン福祉園、シャローム、湘南グリーン介護老人保健施設、太陽の家、衣笠愛育園、しらべ保育園、日の出保育園、ゆう、共栄社、共栄社特養ホーム、フイオリエクス、グループホームはまみ、(福)心の会、佐野保育園、(福)クオレ、やまびこ荘、湘南ホーム、(福)富士美、浦上台作業所、第三湘南グリーン介護老人保健施設、横須賀愛光園、グループホームアイ・ウィッシュ、恵徳苑、介護老人保健施設衣笠のうけ、衣笠ホーム、長井保育園、浦賀保育園、第二湘南グリーン介護老人保健施設、(福)興寿会、(福)海風会、総合病院聖ヨゼフ病院、横須賀グリーンビル、シャローム浦上台、西力建築材料(株)、神奈川県看護協会横須賀支部、(有)山仙商店、日本福音ルーテル横須賀教会、横須賀福祉愛好会、横須賀三浦鍼灸マッサージ師会、竹内自動車工業(株)、横須賀個人タクシー協同組合、神奈川県美容業生活衛生同業組合横須賀中央支部、メソニックカフ、日洋物産(株)、(有)川口包装、雑賀屋不動産(株)

平成20年12月1日
平成21年2月28日
〈順不同・敬称略〉

「賛助会員募集中」
★お名前とご住所を、表紙にある連絡先へ、電話、はがき、FAX、Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。
団体会員 一口5000円
個人会員 一口1000円
会費は年会費となっております。お人口数は何口でも結構です。



賛助会員のご紹介

企画・デザイン・写真撮影から印刷まで

企画からデザイン、写真撮影、印刷、製本までの一貫した対応により、スピーディーかつローコスト化を実現します。高品質な仕上がりでお客様の要望にお応えします。



企画・デザイン・印刷・製本
株式会社 アド・ワークス

●チラシ広告 ●ポスター ●パンフレット ●冊子 ●記念誌
●名刺 ●伝票 ●カレンダー ●封筒 ●のぼり旗・幕 ●シール
●POP各種 ●販促物取付器具 ●写真撮影 ●ラミネートフィルム
●名入れグッズ各種 ●その他印刷物全般

〒239-0807 神奈川県横須賀市根岸町4-9-13
TEL.046-833-1010(代) FAX.046-833-0622
e-mail: eigyou@e-adworks.com

小・中・高等学校 ボランティアスクール



横須賀市社協では、地域福祉活動計画の目標の一つである〈子どものころから地域や福祉にふれられる環境をつくっていかう〉にもとづいて、地域や学校における福祉教育に取り組んでいます。

福祉教育は、「**ふくし** = **ふだんのくらしのしあわせ**」と考えて、人が幸せに暮らしづらくしている問題に気づき、その解決方法を考え、実際に行動する気持ちや力を育むことを目的としています。



◎横須賀市社協の「福祉教育」の取り組み内容（一例）

○ボランティアスクールに関する企画から実施までの総合的な相談

○市社協職員やボランティアグループ等の講師派遣

（講演・グループワーク〈例〉福祉ってなに!?、ボランティアってなに!?、赤い羽根共同募金体験プログラム）
（〈例〉手話体験、点字体験、車いす体験、視覚障害者の誘導法など）

○福祉機材、ビデオ教材等の貸し出し

※学校で実施を希望する場合、具体的な計画をたてる前からお気軽にご相談ください。

じよんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



平成20年度
結果第一報
(平成21年3月1日現在)

最終結果・詳細は次号(7月号)で

8,285万円

ご協力ありがとうございました。



※平成20年度共同募金の運動期間は平成20年10月1日から12月31日までですが、会計期間は平成21年3月31日までとなっております。募金の最終結果・詳細につきましては、次号(7月号)にてご報告させていただきます。



<土・日曜日>も開いています。

くらしの相談

相談は無料

お客様相談室

ご相談内容：相続・年金・資産運用・税金・その他よろず相談をお受けしております。

お取り次ぎどころ

お取引店へ各種書類をお取り次ぎいたします。

横須賀中央駅前出張所 2階

フリーダイヤル ☎ 0120-046801

営業時間 午前10:00～午後7:00

お休み 12月31日から1月3日まで、および平日が休日の場合はお休みとさせていただきます。

TRiBank Miura Fujisawa 三浦藤沢信用金庫

みんな!みんな!集まれ!!
(・ω・)/

ふれあいキャンプ実行委員 大募集!!!

毎年8月、鴨居コミュニティセンターで、主に知的な障害のある小学校3年生～高校3年生の子どもたちと遊んだり、泊まりながら一緒に過ごす「ふれあいキャンプ」。今年で32回目になります。

このキャンプの企画や準備、当日に運営するのが、ふれあいキャンプ実行委員会。今年も5月から、高校生、専門学校生、大学生など、学生が中心となって、キャンプのプログラムを話し合ったり、役割分担しながら当日に向けた準備などを行います。

この実行委員会では、企画や準備を始める前に、障害に関する講座やボランティア講座も開講します。だから、

今まで障害のある子どもたちと接したことがなくても、ボランティア活動したことがなくてもOK!!!

高校生でも大学生でも、学校・学年が違って、みんな学生ボランティア。一つの目標に向かって行動し、一人ひとりの個性を十二分に発揮して、キャンプを通じた自分さがししてみませんか。

☆募集対象 福祉に関心や興味がある高校生、大学生など

☆募集人数 25名

☆その他 実行委員会の開催は、月3回程度

(詳細は、よこすかボランティアセンターにおたずねください)



〈楽しい企画 スイカ割り〉



〈熱心に話し合ってます〉



〈達成感いっぱいの笑顔〉

＜前実行委員からのメッセージ＞

- ▶ ○実行委員会に参加してから、発言する機会が多くなりました。(高校2年生)
- ▶ ○出会った人たちと築いた絆と経験を活かして、次につなげていきたい。(高校2年生)
- ▶ ○人と関わることが好きだと実感し、福祉分野へ就職することも考えています。(大学3年生)
- ▶ ○障害についての理解やボランティア活動の楽しさは勿論のこと、たくさんの人の考え方や会議の進め方、計画を自分たちで考えることなど、仲間から教えてもらうことができました。(高校3年生)

ホームページもチェックしてください!

「よこすか社協だより」には紙面の都合で載せることができなかったこと、タイミングが合わずお知らせできなかったボランティア募集や講座のご案内…多くの方々に伝えたいことを、ホームページに掲載しています。

市社協が行っている各種事業のほか、気軽に参加できる催しや講座、力を貸してほしいボランティア募集の記事、過去の「よこすか社協だより」「ボランティアニュース」を見ることもできます。(社協だよりはPDF形式です)

ぜひホームページにも“お立ち寄り”ください。

ホームページアドレス
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo>



イトマンが生まれ変わって1年がたちました リニューアル1周年記念キャンペーン

試してナットク 全クラス
★電話予約制 お気軽にどうぞ★

1日無料体験

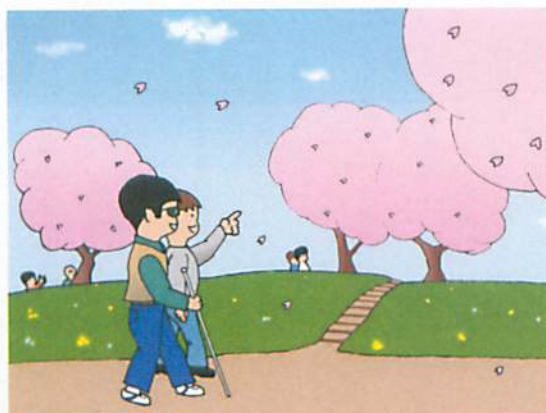
5月28日(木)までに正会員に入会されると
入会金 5,250円 ▶ 100%OFF

- 幼児・ジュニアクラス 指定用品一式 プレゼント!
- ベビークラス ヘルパー + スイミングキャップ プレゼント!
- 大人クラス ゴーグル + スイミングキャップ プレゼント!

※キャンペーン特典は、3ヶ月以内の再入会者の方は適用できません。

イトマンスイミングスクール横須賀校 ☎ 046-823-6170

横須賀市日の出町3-11 <http://www.e-itoman.co.jp> ※毎月末29・30・31日と祭日は休館日です(振替休日は平常通り営業)



ボランティアコーナー

よこすかボランティアセンター

開 所 月曜日～土曜日 9時～17時(日曜日と祝日は休み)

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1

汐入駅から徒歩6分「ショッパーズプラザ横須賀」の右となり、市立総合福祉会館の4階です。

電 話 (821) 1303 (825) 0017/FAX (824) 8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>

ボランティア大募集

①募集団体・らぼにー

内 容: 発達障害のお子さんとそのご兄弟の遊び相手

日 時: 4月12日(日) 10時～13時

4月25日(土) 13時～16時

場 所: 総合福祉会館内

☆4～12歳までの発達障害のお子さんとそのご兄弟のグループです。活動時間は時間内であればボランティアの都合で可。

②募集団体・わくわくフェスティバル実行委員会

内 容: イベント運営のお手伝い、販売のお手伝い、会場整理など

日 時: 5月16日(土) 9時～16時

場 所: 妙真寺(公郷町5-6)

☆わくわくフェスティバルとは地域作業所と地域の方々と交流を目的としたイベントです。荒天時のみ順延。

③募集団体・メロディー

内 容: 外出介助

日 時: ①4月26日(日) 9時45分～16時

②5月24日(日) 9時45分～16時

場 所: ①しながわ水族館

②金沢自然動物公園

☆ダウン症のお子さんたちのグループです。

④募集団体・米海軍横須賀基地MWR

内 容: 独立記念日イベント(インディペンデンスデイ)のお手伝い

日 時: 7月4日(土) 14時～20時位

場 所: 米海軍横須賀基地

☆体力に自信のある18歳以上の方。パスポート、運転免許証(ICチップ不可)、写真付住民基本台帳カードのいずれかが必要。



おもちゃの病院



平成21年度開院日

開 院 日: 毎月第1土曜日(5月・6月・1月を除く)

平成21年4月4日★5月9日★6月7日★7月4日★8月1日

9月5日★10月3日★11月7日★12月5日

平成22年1月9日★2月6日★3月6日

受付時間: 10時～12時

場 所: 市立総合福祉会館 4階

よこすかボランティアセンター 第1活動室

○電池で動くおもちゃを持参する場合は、新しい電池をお持ちください。

○修理代は無料、部品交換の場合は実費負担をお願いします。

○6月7日は「やさしさ広げ」ふれあいフェスティバル中に開院します。

布おもちゃ親子サロン“ポケット”

平成21年度開催日

内 容: 布おもちゃを通じて子育て中の親子の交流を深める。

開催日: 平成21年4月10日★5月8日★6月12日★9月11日

10月9日★11月13日★12月11日

平成22年2月12日★3月12日

※8月・1月はお休みさせていただきます。

時 間: 午前の部 10時～11時30分 午後の部 13時～14時30分

場 所: 市立総合福祉会館5階視聴覚研修室

(10月は市立総合福祉会館7階第1音楽室)

対 象: 0歳～6歳児(未就学児)を子育て中の親子

20年度同様、21年度も多くの親子の参加をお待ちしています。



ボランティア相談 Q&A

Q. ボランティアってなんですか。

A. テレビや雑誌を見て、自分で何かできることがあればと心動かされたことはありませんか？

町を歩いているときに何か気づいたことはありませんか？

そんなとき、自分から何かしたいと思い、行動することがボランティアです。

ただ、ボランティアは自分勝手に行うものではなく、必要としていることに対して自分の時間と体を使って行うものです。

もちろん、人にだけでなく、地球に生きているすべてのものが対象になります。

Q. どんなボランティアがありますか。

A. 高齢者や障害のある方のお手伝いや特技を生かした施設訪問などがあります。

ボランティア情報を元にボランティアに参加するのも良いですが、大切なのは気づいたときに自分で何ができるか考えること。

そこからボランティアが始まります。

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は

湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本 店ローンセンター 0120-413-357

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス

<http://www.shinkin.co.jp/shonan>



お気軽に相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも市立総合福祉会館2階です。

相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。／12時15分～13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

地域における自立生活を支援するため、生活福祉資金貸付相談を受け付けています。

【相談にあたっては…】

- ①使用目的別に資金貸付があります。
 - ②一般生活費は貸付できません
 - ③地区担当民生委員による相談援助活動が行われます。
 - ④借受人世帯の自立を支援できる連帯保証人が必要です。
- (市内在住の方)

【予約制】地区担当民生委員と もに相談内容をお伺いいたします ので、来所前に必ずご連絡ください。

●毎週月・水・金曜日
9時～17時

予約はTEL(821)1301

地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

●毎週月曜日～金曜日
10時～16時

福祉機器展示場
電話相談TEL(824)9436

住宅改造相談

ちよつとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会横須賀支部の建築士をはじめ、介護福祉士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日
10時～15時

予約はTEL(821)1301

であいふれあいたすけあい

「やさしさ広がれ」 ふれあいフェスティバル 2009のご案内

今年で14回目を迎える「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル。市民一人ひとりが連帯感のあるあたたかい福祉のまちづくりを目指し、楽しみながら福祉について考え、行動していくことを目的として開催する市民協働型イベントです。

横須賀市内の福祉施設、障害者地域作業所、ボランティア団体、市民グループ、企業などの参加によって、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も、ファミリーでも一日楽しめる50種類以上の多彩なイベントがあります。

日時：6月7日(日) 10時～15時

場所：総合福祉会館

内容：盲導犬・介助犬デモンストレーション、福祉バザー、地域作業所の作品販売、手話等の体験コーナー、布おもちゃ・布えほん「みてさわって遊ぼう」コーナー、おもちゃの病院・おもちゃ作りの体験 ほか

問合せ：市社協 地域福祉課 TEL 821-1301

※当日は駐車場を使用できないため、ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。

ボランティア同時募集

日時：6月7日(日) 9時～16時(予定)

場所：総合福祉会館

内容：フロア案内・クイズラリースタッフ、模擬店売り子、写真・記録スタッフ

申込み：5月1日(金)まで

問合せ：よこすかボランティアセンター (7頁右上参照)



ありがとう

社会福祉のために、次の方々から温かい寄付がありました。

平成20年12月1日～平成21年2月28日

(敬称略)

船橋珠枝、ハンドニットの会、バ
ーラー風羅巴、浦賀第1民協OB会
横須賀商工会議所女性会、山本明、
日産労組、手話タンスゆらぎ、天
空の街自治会、天空若葉会、神澤留夫、
神奈川県生命保険協会、(株)根岸工
務店、(福)三育福祉会、カトレアタ
ンスグループ、小林好明、横須賀市
学童保育連絡協議会、ピクチャーレ
ード大江希代子、(株)根岸工務店協
力会、(社)横須賀法人会、山内雪枝、
城北母親クラブ
岩崎光子、梅田英治、上町第2地
区ボランティアセンター、NTTド
コモR&D総務部、遠藤秋男、大津
地区ボランティアセンター、奥村和
昭、衣笠地区ボランティアセンター、
坂本春子、武谷広子、武山地区ボラ
ンティアセンター、東芝ウイズ(株)
社会貢献室、(財)横須賀市都市施設
公社、西あゆみ、堀井捷司、本町テ
ィービスセンター、松生キヨ子、
光美会、宮崎能武子、山崎峰崇、横
川和司、横須賀「東風と歌つ会」、
渡辺訓宏、匿名
寄付金 三十件
一、二六六、三八五円
物品 三十八件

あとがき

昨夏、この世のすべてをなし終え、
八十八歳で浄土へ旅立った舅様は、武
士のような生涯を貫き見事な最期を迎
えられた。

自宅介護をする者にとっては、あり
がたい介護保険の申請をかくなく拒
否し、ようやく本人の了承を得て申請
したのは、亡くなる二ヶ月前のことだ
った。

しかし、受けられるサービスをほと
んど断り、自分の命を自分で見切り、
家族や往診をしてくださるお医者様、
看護師さんに感謝の言葉を伝え、自ら
食事と水を絶たれた。

そして十日後、家族に見守られ自分
の布団にくるまれて静かに息を引き取
られた。そばに居るのが耐えられなく
て何度か救急車の要請をしそうになっ

たが、しなかったことに家族全員が後
悔はなかった。

その数日後、私の住む地域でひとり
暮らし高齢者の孤独死が発見された。
人とコミュニケーションをとることが
苦手で、誰とでも喧嘩ばかりしていた
この方に、私は戸口を閉められないよ
う、何年も慎重な友愛訪問を続けてい
た。それが、我が家の舅様を見送った
直後で忙しかつたといえ、孤独死が
回避できなかったことに自責の念に駆
られた。

両者とも「畳の上」で迎えた死であ
ったが、死に様の違いにただ驚くばか
りだった。ひとり暮らしが、今後どこ
まで増加するか予想もつかないが、せ
めて隣近所の方々と軽く訪問しあえる
関係が、どんなに大切であるか子や孫
に伝えていきたいと思います。